



## 2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月1日

上場会社名 株式会社百十四銀行 上場取引所 東  
 コード番号 8386 URL <https://www.114bank.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 綾田 裕次郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画部長 (氏名) 大島 雄一 (TEL) 087-836-2721  
 四半期報告書提出予定日 2023年8月2日 配当支払開始予定日 —  
 特定取引勘定設置の有無 無  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	20,366	△9.4	5,726	12.2	3,740	12.1
2023年3月期第1四半期	22,471	19.9	5,102	0.7	3,336	6.1

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 16,022百万円( —%) 2023年3月期第1四半期 △8,240百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	129.33	129.30
2023年3月期第1四半期	113.29	113.26

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	5,874,243	295,818	5.0
2023年3月期	5,809,359	281,098	4.8

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 295,797百万円 2023年3月期 281,077百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計-期末新株予約権)を期末資産の部合計で除して算出しております。  
 なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	35.00	—	40.00	75.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	35.00	—	35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	38,000	△14.6	5,500	△37.3	3,700	△38.0	128.29
通期	75,000	△11.6	10,000	△24.8	6,500	△29.1	225.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P6「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2024年3月期1Q	29,100,000株	2023年3月期	29,100,000株
2024年3月期1Q	260,692株	2023年3月期	180,626株
2024年3月期1Q	28,918,473株	2023年3月期1Q	29,446,435株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

【添付資料】

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6

2024年3月期 第1四半期決算 補足説明資料

1. 2024年3月期 第1四半期累計期間の損益状況(単体)	7
2. 預金等・預り資産の状況(単体)	8
3. 貸出金の状況(単体)	8
4. 金融再生法開示債権の状況(単体)	9
5. その他有価証券の評価差額(単体)	10
6. 自己資本比率(国内基準)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の経常収益は、外国為替売買益の減少によるその他業務収益の減少などにより、前第1四半期連結累計期間比21億5百万円減少して203億66百万円となりました。

また、経常費用は、国債等債券売却損の減少によるその他業務費用の減少などにより、前第1四半期連結累計期間比27億29百万円減少して146億40百万円となりました。

この結果、経常利益は、前第1四半期連結累計期間比6億24百万円増加して57億26百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前第1四半期連結累計期間比4億4百万円増加して37億40百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、有価証券の増加などにより、前連結会計年度末比648億円増加して5兆8,742億円となりました。また負債は、コールマネー及び借入金  
の増加などにより、前連結会計年度末比501億円増加して5兆5,784億円となりました。

なお純資産は、前連結会計年度末比147億円増加して2,958億円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、2023年5月11日公表の数値から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
現金預け金	1,197,854	1,190,272
コールローン及び買入手形	—	2,029
買入金銭債権	34,950	34,325
商品有価証券	9	9
有価証券	1,044,665	1,117,829
貸出金	3,362,245	3,370,713
外国為替	19,938	6,195
リース債権及びリース投資資産	18,677	18,270
その他資産	70,679	74,340
有形固定資産	36,867	36,874
無形固定資産	4,406	4,365
退職給付に係る資産	15,948	16,266
繰延税金資産	732	731
支払承諾見返	19,898	19,005
貸倒引当金	△17,514	△16,986
<b>資産の部合計</b>	<b>5,809,359</b>	<b>5,874,243</b>
<b>負債の部</b>		
預金	4,696,403	4,696,566
譲渡性預金	84,267	87,570
コールマネー及び売渡手形	20,360	42,195
借入金	624,432	640,612
外国為替	248	265
その他負債	73,773	77,999
役員賞与引当金	49	—
退職給付に係る負債	248	249
役員退職慰労引当金	38	27
睡眠預金払戻損失引当金	163	149
偶発損失引当金	69	72
株式報酬引当金	181	197
繰延税金負債	3,048	8,439
再評価に係る繰延税金負債	5,077	5,071
支払承諾	19,898	19,005
<b>負債の部合計</b>	<b>5,528,260</b>	<b>5,578,425</b>
<b>純資産の部</b>		
資本金	37,322	37,322
資本剰余金	30,486	30,486
利益剰余金	187,908	190,502
自己株式	△513	△656
株主資本合計	255,204	257,654
その他有価証券評価差額金	14,669	26,799
繰延ヘッジ損益	138	427
土地再評価差額金	7,952	7,938
退職給付に係る調整累計額	3,113	2,977
その他の包括利益累計額合計	25,873	38,142
新株予約権	21	21
<b>純資産の部合計</b>	<b>281,098</b>	<b>295,818</b>
<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>5,809,359</b>	<b>5,874,243</b>

( 2 ) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第 1 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 2022年 4 月 1 日 至 2022年 6 月 30 日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 2023年 4 月 1 日 至 2023年 6 月 30 日)
経常収益	22,471	20,366
資金運用収益	12,036	13,409
(うち貸出金利息)	7,005	9,342
(うち有価証券利息配当金)	4,619	3,712
役務取引等収益	3,025	2,993
その他業務収益	3,772	1,023
その他経常収益	3,637	2,940
経常費用	17,369	14,640
資金調達費用	683	3,381
(うち預金利息)	277	1,187
役務取引等費用	855	883
その他業務費用	4,991	508
営業経費	8,600	8,354
その他経常費用	2,237	1,513
経常利益	5,102	5,726
特別利益	16	6
固定資産処分益	16	6
特別損失	8	44
固定資産処分損	7	15
減損損失	0	29
税金等調整前四半期純利益	5,110	5,688
法人税等	1,774	1,948
四半期純利益	3,336	3,740
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,336	3,740

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	3,336	3,740
その他の包括利益	△11,576	12,282
その他有価証券評価差額金	△12,292	12,130
繰延ヘッジ損益	688	288
退職給付に係る調整額	26	△136
四半期包括利益	△8,240	16,022
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△8,240	16,022

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の処理

当行及び連結子会社の税金費用は、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じることにより算定しております。



2024年3月期 第1四半期決算 補足説明資料

1. 2024年3月期 第1四半期累計期間の損益状況 (単体)

2024年3月期第1四半期累計期間の経常収益は、外国為替売買益の減少によるその他業務収益の減少などにより、前年同期比20億12百万円減少して182億45百万円となりました。

コア業務純益は、外貨調達費用の増加などによる資金利益の減少及びその他業務利益(除く債券関係損益)の減少などにより、前年同期比40億62百万円減少して46億83百万円となりました。

経常利益は、コア業務純益は減少しましたが、債券関係損益が改善したことなどにより、前年同期比5億40百万円増加して53億85百万円となりました。

四半期純利益は、前年同期比3億20百万円増加して35億99百万円となりました。

(単位：百万円)

	2023年3月期 第1四半期 (A)	2024年3月期 第1四半期 (B)	2024年3月期 中間期予想		
			前年同期比 (B)-(A)	増減率(%)	
<b>経常収益</b>	<b>20,257</b>	<b>18,245</b>	<b>△ 2,012</b>	<b>△ 9.9</b>	<b>33,000</b>
コア業務粗利益 ①	16,799	12,708	△ 4,091	△ 24.4	
資金利益	11,495	10,108	△ 1,387	△ 12.1	
役務取引等利益	1,631	1,577	△ 54	△ 3.3	
その他業務利益(除く債券関係損益)	3,672	1,022	△ 2,650	△ 72.2	
経費 ②	8,053	8,024	△ 29	△ 0.4	
<b>コア業務純益 ①-②</b>	<b>8,745</b>	<b>4,683</b>	<b>△ 4,062</b>	<b>△ 46.4</b>	
コア業務純益(除く投資信託解約損益)	7,539	4,056	△ 3,483	△ 46.2	
債券関係損益 ③	△ 4,891	△ 506	4,385	—	
実質業務純益 ①-②+③	3,854	4,176	322	8.4	
一般貸倒引当金繰入額(注2) ④	6	—	△ 6	—	
業務純益 ①-②+③-④	3,847	4,176	329	8.6	
臨時損益	997	1,208	211	21.2	
不良債権処理費用 ⑤	582	55	△ 527	△ 90.5	
うち貸出金償却	265	35	△ 230	△ 86.8	
うち個別貸倒引当金繰入額(注2)	297	—	△ 297	—	
貸倒引当金戻入益(注2) ⑥	—	251	251	—	
償却債権取立益 ⑦	111	149	38	34.2	
株式等関係損益 ⑧	1,235	500	△ 735	△ 59.5	
その他臨時損益	233	362	129	55.4	
<b>経常利益</b>	<b>4,845</b>	<b>5,385</b>	<b>540</b>	<b>11.1</b>	<b>5,000</b>
特別損益	10	△ 41	△ 51	—	
法人税等合計	1,576	1,744	168	10.7	
<b>四半期純利益</b>	<b>3,279</b>	<b>3,599</b>	<b>320</b>	<b>9.8</b>	<b>3,500</b>
有価証券関係損益 ③+⑧	△ 3,655	△ 6	3,649	—	
与信関係費用 ④+⑤-⑥-⑦	477	△ 345	△ 822	—	

(注) 1. 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 2024年3月期第1四半期は、一般貸倒引当金繰入額と個別貸倒引当金繰入額の合計額が取崩超過となりましたので、取崩超過額を「臨時損益」の貸倒引当金戻入益に計上しております。

2. 預金等・預り資産の状況 (単体)

当第1四半期末の預金等残高は、前年度末比で法人預金は減少しましたが、公共及び個人預金が増加したことにより、32億円増加して4兆7,991億円となりました。

また、当第1四半期末の預り資産残高は、前年度末比で金融商品仲介は減少しましたが、一時払保険及び投資信託が増加したことにより、67億円増加して3,369億円となりました。

	(単位：億円)			【参考】	(単位：億円)
	2023年6月末	2022年6月末比	2023年3月末比	2022年6月末	2023年3月末
預金等(注)	47,991	△ 2	32	47,993	47,958
個人	27,187	364	334	26,822	26,852
法人	18,904	△ 236	△ 644	19,141	19,548
公共	1,899	△ 130	341	2,029	1,557

(注) 預金等とは、預金及び譲渡性預金であります。

	(単位：億円)			【参考】	(単位：億円)
	2023年6月末	2022年6月末比	2023年3月末比	2022年6月末	2023年3月末
預り資産(注)	3,369	133	67	3,236	3,301
投資信託	1,056	69	50	987	1,005
一時払保険	1,866	170	128	1,696	1,738
金融商品仲介	446	△ 106	△ 110	552	557

(注) 預り資産は、各期末日における時価ベースの残高であります。

3. 貸出金の状況 (単体)

当第1四半期末の貸出金残高は、前年度末比で公共向け及び個人向け貸出金が減少しましたが、法人向け貸出金が増加したことにより、76億円増加して3兆3,744億円となりました。

また、当第1四半期末の中小企業等貸出金残高は、前年度末比で216億円増加して2兆3,852億円となりました。

	(単位：億円)			【参考】	(単位：億円)
	2023年6月末	2022年6月末比	2023年3月末比	2022年6月末	2023年3月末
貸出金	33,744	1,507	76	32,237	33,668
個人向け貸出金	5,908	100	△ 10	5,808	5,919
うち住宅ローン	5,616	86	△ 5	5,530	5,622
法人向け貸出金(注1)	24,778	1,181	281	23,597	24,496
公共向け貸出金	3,058	225	△ 193	2,832	3,252
中小企業等貸出金 (注2)	23,852	1,462	216	22,389	23,636
中小企業等貸出金比率	70.68%	1.23%	0.48%	69.45%	70.20%
信用保証協会保証付貸出金	1,808	37	△ 11	1,771	1,819

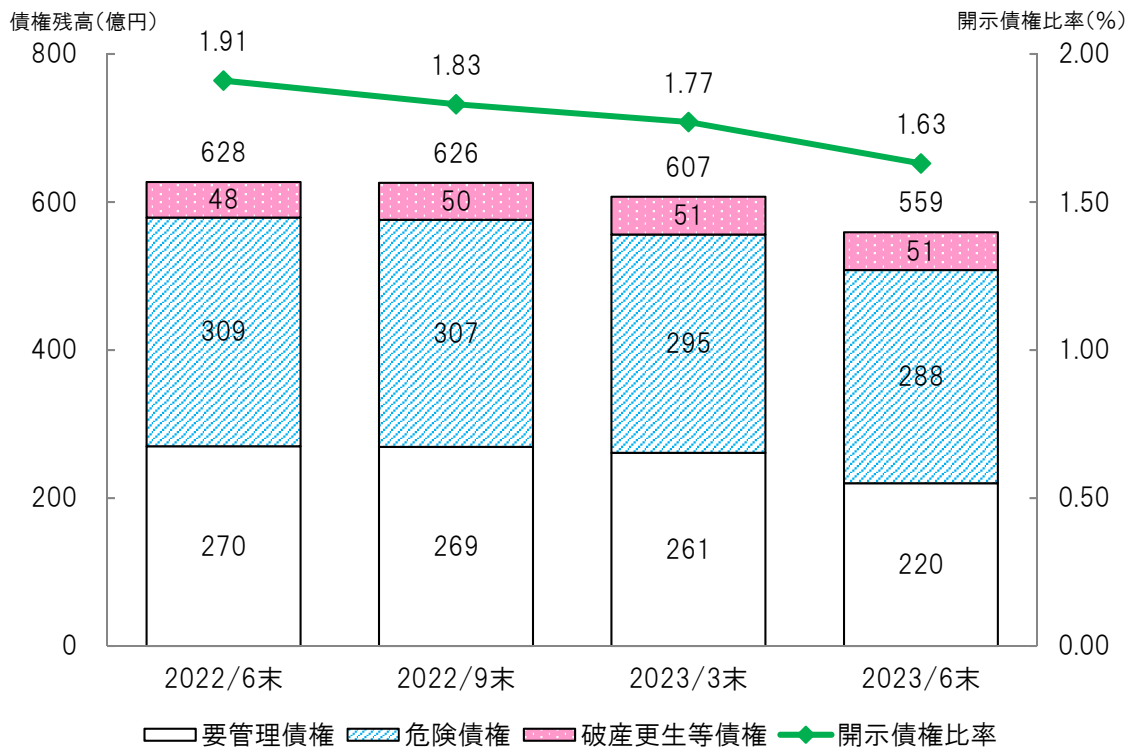
(注) 1. 法人向け貸出金には、個人事業主向け貸出金を含めております。  
2. 中小企業等貸出金とは、中小企業及び個人向け貸出金であります。

4. 金融再生法開示債権の状況(単体)

不良債権に対しては、お取引先の経営支援に積極的に取り組みつつ、担保及び貸倒引当金により適正かつ十分な対応を行っております。

当第1四半期末の金融再生法開示債権残高は、前年度末比48億円減少して559億円となり、総与信残高に占める開示債権比率は、前年度末比0.14ポイント低下して1.63%となりました。

金融再生法開示債権	(単位:億円)			【参考】	(単位:億円)	
	2023年6月末	2022年6月末比	2023年3月末比		2022年6月末	2023年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	51	3	0		48	51
危険債権	288	△21	△7		309	295
要管理債権	220	△50	△41		270	261
開示債権合計	559	△69	△48		628	607
総与信残高	34,205	1,451	64		32,754	34,141
開示債権比率	1.63%	△0.28%	△0.14%		1.91%	1.77%



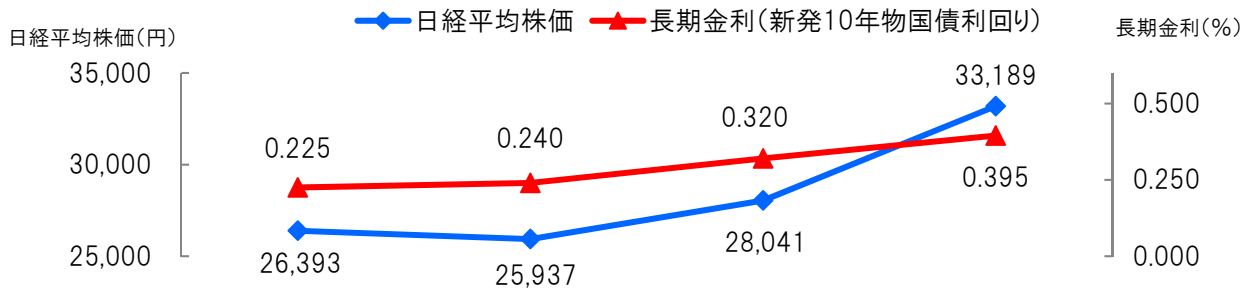
5. その他有価証券の評価差額 (単体)

当第1四半期末の「その他有価証券」の評価差額は、前年度末比 172 億円増加して 376 億円となりました。

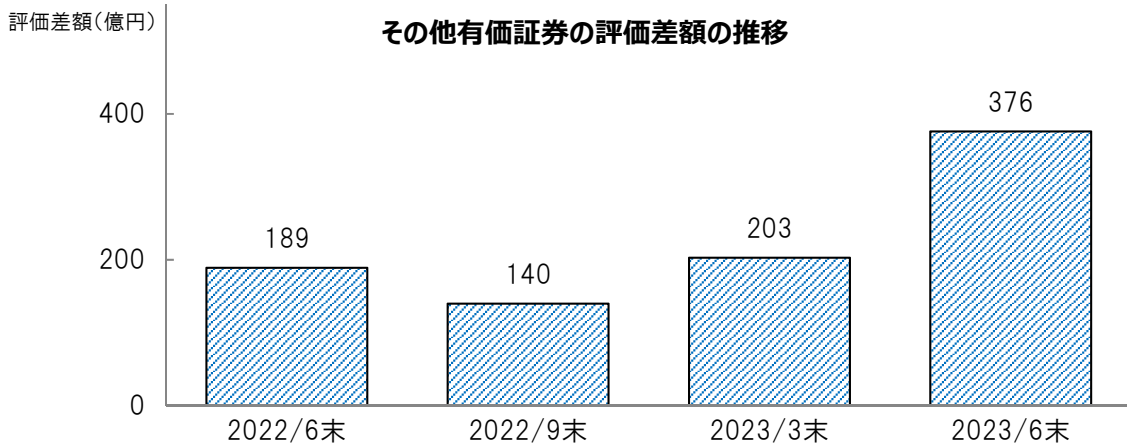
	(単位：億円)					【参考】 (単位：億円)					
	2023年6月末					2022年6月末			2023年3月末		
	評価差額					評価差額			評価差額		
		2022年 6月末比	2023年 3月末比	うち益	うち損	うち益	うち損		うち益	うち損	
その他有価証券	376	186	172	723	346	189	550	360	203	573	370
株式	696	181	147	712	15	515	532	17	549	567	18
債券	△122	21	21	2	125	△144	4	148	△144	2	147
その他	△197	△15	3	8	206	△181	13	194	△200	3	204

(注) 「その他有価証券」は、時価評価しておりますので、評価差額は、貸借対照表価額と取得原価との差額を計上しております。

【参考】日経平均株価と長期金利の推移



その他有価証券の評価差額の推移



6. 自己資本比率 (国内基準)

2023年6月末基準の連結自己資本比率 (国内基準) は、前年度末比 0.05 ポイント上昇して 9.15%となりました。

(1) 連結自己資本比率 (国内基準)

	(単位：億円)			【参考】 (単位：億円)	
	2023年6月末	2022年6月末比	2023年3月末比	2022年6月末	2023年3月末
①連結自己資本比率(②/③) (注1)	9.15%	△ 0.11%	0.05%	9.26%	9.10%
②連結における自己資本の額	2,550	50	31	2,500	2,519
③リスク・アセットの額 (注2)	27,856	855	190	27,000	27,666
④連結総所要自己資本額	1,114	34	7	1,080	1,106

(2) 単体自己資本比率 (国内基準)

	(単位：億円)			【参考】 (単位：億円)	
	2023年6月末	2022年6月末比	2023年3月末比	2022年6月末	2023年3月末
①自己資本比率(②/③) (注1)	8.65%	△ 0.13%	0.05%	8.78%	8.60%
②単体における自己資本の額	2,389	39	29	2,350	2,359
③リスク・アセットの額 (注2)	27,621	848	186	26,772	27,434
④単体総所要自己資本額	1,104	33	7	1,070	1,097

(注) 1. 自己資本比率は、銀行法第 14 条の 2 の規定に基づき、銀行がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準 (2006 年金融庁告示第 19 号) に定められた算式に基づき算出しております。なお、当行は国内基準を適用しております。

2. 信用リスク・アセットの算出においては標準的手法を、オペレーショナル・リスク相当額の算出においては粗利益配分手法を採用しております。